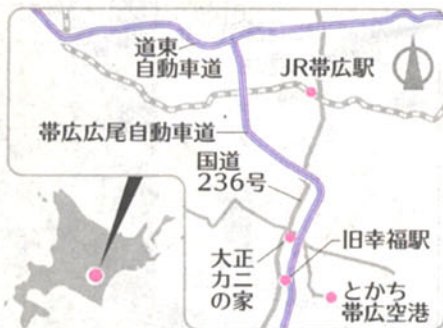


帯広市南部に広がる大正地区は特産のジャガイモ「メイクイン」をはじめ、小麦や豆を栽培する農村地帯に観光スポットが点在する。1987年に廃線となった旧国鉄広尾線の大正駅跡から幸福駅へ、歴史や自然を堪能できる見どころを巡った。

(帯広報道部 小森美香)



# 廃線跡に見どころ満載

無料の宿泊所  
大正カニの家

大正駅跡周辺を整備した大正カニの家。市が2001年に開設し、ログハウス風の木造2階建てに簡易キッチンやトイレ、シャワー、女性専用の部屋を備える。徒歩や自転車、バイクの旅行者が無料で宿泊でき、14年は1077人が利用した。



今年利用は6月6日から始まり、10月4日まで。管理する大正商工会友会上田隆則会長50は「50人ほど宿泊する日も。炭や網を持ち込めば、隣接するバーベキューハウスも無料で使えます」と話す。

とかち大正  
二輪館

必見のバイク

国道236号へ出ると、とかち大正二輪館の看板が目につく。館内には自転車にエンジンを取り付けた自転車バイク、米ハーレーダビッドソンをモデルにした国産大型バイク「陸王」など約150台がずらりと並ぶ。



館長の牧野昌徳さん(74)が燃料販売業の傍ら集めた。子どもがすらすらと並ぶ。

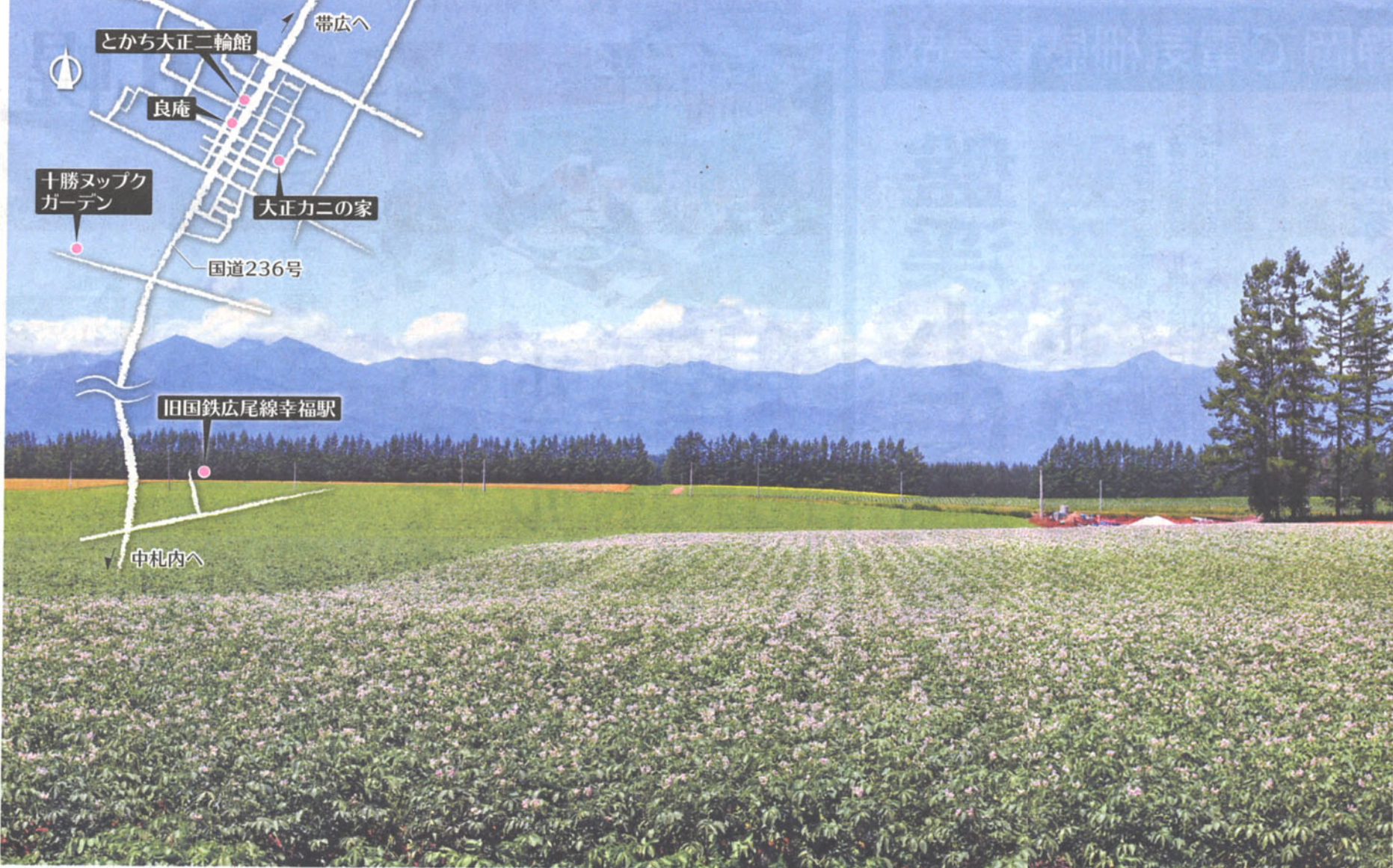
供や若い人に見てほしいです。午前9時半〜午後4時で無休。入館料は高校生以上500円。4月下旬〜10月末は燃料の営業日に閉館する。

幸福駅

恋人集う聖地

さらに5分ほど国道を下り、右手に旧国鉄広尾線のオレンジ色の車両が見えてくる。幸福駅だ。

56年に開業し、70年代には近くの愛国駅から幸福駅行きの切符が人気を集めた。廃線後も「恋人の聖地」として多くのカップルや夫婦が訪れ、現駅舎は13年に改築された。壁一面には切符を模したはがき。「ずっと幸せでいられますように」。訪れた人の思いが伝わる。近くで75年から営業する土産店「杵淵商店」の杵淵征治さん(76)は、土産品の切符に国鉄時代の機械で日付を入れながら「人気は今も健在です」と笑顔で話した。



ジャガイモ畑などが広がる大正地区。十勝らしい広大な風景を楽しみながら、観光スポットを巡ることができる。

## ちょっと休憩ここに寄り道



ほくほくとしたゴボウ天の食感が食欲をかき立てる「とかち大正付きごぼう天そば」

### とかち大正付きごぼう天そば

運ばれると同時に、ゴボウの香りが鼻をくすぐった。国道236号沿いの「蕎麦処 良庵」(帯広市大正町本通3)の店主の及川良さん(63)は近くのボウを使った「とかち大正付きごぼう天そば」を食べながら、食へ応えがうために切り、

### 風味良い切りたて麺

そばは十勝管内芽室町産や同管内舞別町産を使用する。そば粉1kgに対し、つなぎの小麦粉はわずか30〜40g。そばは注文が入ってから切り、喉ごしよく仕上げる。「切りたては風味が違う。どんなに忙しくてもこのスタイルは変えませんが」と及川さん。

# おさなご 北海道

現在、見ごろを迎えているのはバラ。花畑には約60種、200株が植栽され、10月ごろまで楽しめる。フロックスやアスターも順次、見ごろとなる。園内の通路は車いすでも通れるよう配慮。レストランも併設し、見学の合間にひと休みしたり、自慢の黒毛和牛を使ったハンバーグなどを味わえる。

### 十勝ヌップクガーデン 60種のバラ畑



1分ほど南へ向かうと、十勝畜産人工授精所などを経営する吉川広司さん(65)の私設庭園「十勝ヌップクガーデン」がある。洋風や和風の庭、自然にも出合える。庭を囲むように湧き水が流れ、ニジマスが泳ぐ。

来週のおさなご

「胆振管内洞爺湖町の洞爺湖温泉街」です